

平成30年第4回定例会 補正予算（案）の概要

第4回定例会では、北海道胆振東部地震の影響による国内外の観光客減少に対応するための情報発信事業などを支援する「『小樽の元気』発信事業費補助金」などを計上したほか、継続費として、重要文化財旧日本郵船株小樽支店の保存修理工事費を、債務負担行為として、総合福祉センターほか公共施設の指定管理者による管理代行業務費などを計上しました。

会計名	補正予算額
一般会計	2億8,833万3千円

※債務負担行為の設定のみ：水道事業会計

【補正予算の主な内容】

◆ 一般会計

北海道新幹線活用小樽まちづくり協議会関係経費 8万7千円

北海道新幹線新小樽（仮称）駅の開業を見据え、その効果を最大限活用したまちづくりのために設置する協議会に係る運営経費

自動車事故等損害賠償金 544万円

平成29年12月25日にJR函館線朝里駅・銭函駅間で発生した線路内への礼文塚し尿処理場の屋根飛散による事故に伴うJR北海道に対する賠償金

〔障害者福祉費〕

- ・ 介護給付費（施設入所支援・生活介護） 5,190万円
（当初19億7,331万6千円 → 20億2,521万6千円）
- ・ 訓練等給付費（就労継続支援） 2,200万円
（当初11億8,184万円 → 12億384万円）
- ・ 障害児給付費（児童発達支援） 2,400万円
（当初3億2,557万7千円 → 3億4,957万7千円）
各給付費における決算見込みの精査に伴う増

給水設備改修事業費(身体障害者福祉センター) 老朽化が著しい給水用ポンプの更新	129万6千円
在宅医療・介護連携ICT活用事業費補助金 (当初7万9千円 → 31万円) ICTを活用した地域包括ケアシステム構築を図るため、情報端末機器の整備等に係る費用の一部を助成 (助成先：小樽市医師会)	23万1千円
後期高齢者医療費療養給付費市負担分 (当初21億5,716万5千円 → 21億4,633万5千円) 29年度の北海道後期高齢者医療広域連合に対する市負担額の確定に伴う精算	△1,083万円
保育所等事故防止推進事業費補助金 睡眠時等の事故防止に活用できる備品購入に係る費用の一部を助成 (助成先：市内3施設)	15万7千円
ボイラー改修事業費(手宮保育所) 経年劣化により故障したボイラーの更新	172万8千円
〔生活保護費〕扶助費 (当初83億6,001万5千円 → 84億8,501万5千円) 各扶助費における決算見込みの精査に伴う増	1億2,500万円
給水設備改修事業費(市民センター) 経年劣化により故障した給水用ポンプの更新	190万円
創業支援事業費 (当初1,500万円 → 2,400万円) 予算に比して申請見込件数が増加したことに伴う増	900万円

観光マップ作成費補助金	50万円
(当初410万円 → 460万円)	
外国人観光客向けの英語版ガイドブックの増刷への補助(10万部→20万部)	
・助成先：一般社団法人小樽観光協会	
「小樽の元気」発信事業費補助金	250万円
北海道胆振東部地震の影響による観光客減に対応するため、本市が観光客の受入に支障がないことを国内外に発信する事業への補助	
・観光動画の作成・発信事業、SNSやインターネットによる情報発信事業	
・助成先：一般社団法人小樽観光協会	
銭函3丁目駐車場管理経費	△21万6千円
(当初800万円 → 778万4千円)	
海水浴場対策委員会補助金	△200万円
(当初200万円 → 0円)	
(※歳入) 銭函3丁目駐車場使用料	△527万8千円
(当初1,000万円 → 472万2千円)	
海水浴シーズンの終了に伴う事業費の確定による精算	
特別支援学級開設等経費	260万円
(当初30万円 → 290万円)	
・特別支援学級の増設	
・玄関スロープ改修及び壁・トイレなどの内部改修	
・移動棚などの備品購入	
・対象校：山の手小学校、奥沢小学校	
就学援助費	
・ 小学校費	800万円
(当初8,000万円 → 8,800万円)	
・ 中学校費	180万円
(当初7,530万円 → 7,710万円)	
給食費単価の上昇や新規認定者数の増加に伴う増	

アイアンホース号整備事業費(ボイラー改修事業費)	
(※歳入) 寄附金	797万2千円
基金繰入金	△797万2千円
ガバメントクラウドファンディングの寄附による財源振替	

歩くスキー事業費	86万円
(当初88万6千円 → 174万6千円)	
損傷したスキー板やスキー靴等の更新	

[燃料・光熱水費]

(総)一般管理費(本庁舎)	280万円
常備消防費(消防本部ほか)	380万円
学校管理費	
・小学校(18校)	570万円
・中学校(12校)	530万円
燃料費単価の上昇等に伴う増	

【継続費】

- 保存修理工事費(重要文化財旧日本郵船株小樽支店費) —
(継続費30年度～33年度6億466万8千円)
※当初予算計上額1,740万円を含む
文化庁指導のもと進捗状況に応じた工事を進めるとともに、平成33年度までの保存修理に係る契約を行うため、継続費を設定

	年割額
平成30年度	1,740万円
平成31年度	1億4,684万6千円
平成32年度	2億6,423万円
平成33年度	1億7,619万2千円

【債務負担】

○行政情報システム整備事業費

(し尿収集管理、ごみ処理手数料徴収管理システム) —
(債務負担 31～36 年度 734 万 1 千円)

Windows7 のサポート切れと改元に対応したシステムへの入替えに当たり、
システム構築期間の確保のため、債務負担行為を設定

○臨時市道整備事業費

—
(債務負担 31 年度 7,000 万円)

端境期対策として工事の早期発注を図るため、債務負担行為を設定

・上町通線ほか 4 路線

○スクールバス運行経費

—
(債務負担 31 年度 4,226 万 7 千円)

31 年度のスクールバス運行に係る契約を行うため、債務負担行為を設定

・対象校：銭函小、張碓小、長橋小

○水泳教室開催経費

—
(債務負担 31 年度 880 万 7 千円)

31 年度の小樽市水泳教室開催に係る契約を行うため、債務負担行為を設定

【指定管理者管理代行業務費関連】

○総合福祉センター (債務負担 31～33 年度 1 億 8,818 万 3 千円)

○市民会館・公会堂・市民センター (債務負担 31～33 年度 3 億 2,254 万 5 千円)

○夜間急病センター (債務負担 31～32 年度 3 億 6,040 万円)

○自然の村 (債務負担 31～33 年度 2 億 77 万 4 千円)

○銭函パークゴルフ場 (債務負担 31～35 年度 2,808 万 4 千円)

【その他】

[歳入] 財政調整基金繰入金 1 億 1 1 5 万 1 千円

[積立金] 寄附に伴う積立金 1, 4 7 8 万円

小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金積立金ほか 4 件

[歳出] 予備費 1, 0 0 0 万円

◆企業会計

◇水道事業会計

配水管整備事業費【債務負担】

—

(債務負担31年度7,000万円)

端境期対策として工事の早期発注を図るため、債務負担行為を設定

- ・梅ヶ枝配水管布設工事ほか3件